

第44回(2021年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会
予選会出場免除および予選会エントリーの特別措置について
(お知らせ)

2021年8月下旬、カナダ、ケベックシティにて開催予定されておりました、第17回FINA世界ジュニア選手権大会および第2回FINA世界ユース選手権大会は、2022年に延期することが、公表されました。これを受けて、本連盟AS委員会では、今年度の世界ジュニア選手権日本代表チームはチャレンジカップ出場後解散、および世界ユース選手権日本代表派遣選手選考会の中止を決定いたしました。つきましては、第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会の予選会免除および予選会エントリーの変更の特別措置について下記のように対応をいたします。関係各位におかれましてはご理解の上、ご協力の程、お願いいたします。

記

・予選会出場免除対象選手

- ・第17回FINA世界ジュニア選手権大会代表選手

(2021年度アーティスティックスイミングジュニア日本代表派遣選手)

※上記該当選手をメンバーに含むデュエット・チーム種目も、予選会出場を免除する。

ただし、予選会には代表選手が所属する登録団体からエントリー(エントリー代納付、プログラム掲載)を行うこと。

・予選会エントリー変更の特別措置

すでに、予選会エントリーの申込み期日が終了している場合に限り、エントリーの追加およびメンバーの変更を認める。但しブロック予選会開催日前に、ブロックごとに協議の上確認をし、ブロックの合意を得ること。

*ジュニア代表はすでに代表としての活動をしているため、免除対象選手とする。ユース代表については選考会が中止となり、メンバーは選考されていないので、免除対象はなしとする。

ただし、現時点で両大会の派遣計画が中止となったため、全国JOCジュニアオリンピック大会へのエントリーが可能となったことにより、エントリー追加やメンバーの変更が出た場合に、エントリーの特別措置を認めるものとする。

以上